



コミュニティ・スクール

三鷹の森学園 CS だより

第11号

～地域は学校を支え、学校は地域を結ぶ～

学園長 山田三重子
会長 石井章夫
編集 CS広報部

平成二十四年 三月

三鷹の森学園 学園長

第五小学校校長 山田 三重子



「継続は力なり」

コミュニティの支援を得ながら、Ⅰ期（1～3年）、Ⅱ期（4～中1年）、Ⅲ期（中2～3年）9年間の授業を改善し学力を向上させること、人や地域の役に立つ喜びを実現させ、自己有用感を高めながら人間力・社会力を育むことについて、継続させて取り組んできました。

国語、算数数学、英語、体育、道徳、総合、教育支援の学園研究の成果は、学力テストやスポーツテストの結果に反映され、学園評価の好結果に繋がりました。

自主的な挨拶運動や、規律ある学校生活を送る子供たち、とりわけ中学生の学習・生活態度は三鷹の森学園の健全育成が願うゴールの生徒像を意識したものといえ、それぞれのよさを発揮させ、自主性を伸ばすような活動場面を、地域の中に発掘・提供して下さったコミュニティやCS委員会の皆様に感謝したいと思います。

支援を継続して下さる地域の力と、目標を定め継続して教育する学校・家庭の協力と、期待に応え努力を継続した子供たちの頑張りが実った1年でした。

有難うございました。

三鷹の森学園コミュニティ・スクール委員会

副会長・地域部部长 高島 和美



今年度の三鷹の森学園は「学力向上」と「健全育成」を柱に取り組んで来ました。学園評価アンケート結果の上では、学校とCSの方向性を概ねご理解、ご支持いただいているんだなあ・・・と感ずることができました。学校にはさらなる授業の改善や工夫をお願いしていきたいと思ひます。

「健全育成」は何かアクションを取ったからすぐにその結果がついてくるものではなく、じっくり継続していく必要があると思ひます。以前に興味深い記事が新聞に載っていました。「父母が読書家であるほど子供（小学2年）が児童書や絵本を読む冊数が多いことが厚生労働省の調査で分かった」というものです。両親の読書量にあわせるように子供の読書量も増え、親の読書習慣が子供と密接な関係にあることが裏付けられました。お子さんに本を読みなさいと言うだけでなく、時には親子でテレビやパソコンから離れて読書や読み聞かせ、本の感想を話し合う・・・そんな時間が「家庭力アップ」につながるのかもしれない！

親も子もあまりに忙しい毎日・・・。忙しさにまかせず子供とじっくり向き合うことのできる家庭・・・そんな家庭づくりを三鷹の森学園CSも応援して行きます！

特集：学園評価アンケート結果報告・検証

三鷹の森学園の「いま」と「これから」

去年との比較、数値の裏の事実

学園アンケート

回収率96%！！

CS評価部、学校・家庭に一言

学校も頑張っている、
家庭も頑張っている、
さあ！地域の出番だ

※中ページをご覧下さい・・・